

雑 報

○編集幹事会

日時 平成 21 年 5 月 11 日 (月) 16:30~
場所 B 会議室
議題 東京女子医科大学雑誌 79 巻 8 号査読結果審議, その他について

○第 25 回吉岡弥生記念講演会

日時 平成 21 年 5 月 22 日 (金) 13:30~
会場 弥生記念講堂
次第 平成 21 年度吉岡弥生研究奨励賞授与式
前年度受賞者研究発表
吉岡弥生記念講演
「弥生先生を語る」
(昭和 31 年卒) 橋本葉子氏
アニメーション
『女子医学教育にかけた生涯
~吉岡彌生物語~』
「女性への期待」(衆議院議員) 上川陽子氏

○集会幹事会

日時 平成 21 年 5 月 26 日 (火) 17:00~
場所 B 会議室
議題 第 25 回吉岡弥生記念講演会, 平成 21 年評議員会, 第 75 回総会, 第 341 回例会, 第 26 回吉岡弥生記念講演会, その他について

訂 正

79 巻 5・6 号 199 頁 病理診断アトラス (18)→(16)
79 巻 7 号 237 頁 病理診断アトラス (19)→(17)

編集後記

最近, 本学でも病院の収益向上への努力が声高に強調されるようになった。もちろん, 診療収支の赤字が続けば本学の存亡にかかわるので改善に努力するのは

当然であるが, 本学はあくまで大学病院であり, 診療のみならず教育と研究も行わなければならないことが一般病院とは決定的に異なる。診療にだけ目を向けて教育と研究をないがしろにすれば大学のアカデミズムは消滅してしまう。しかしながら, 現実には, 我々医療スタッフは研修医から教授に至るまで, 昼夜一般病院の医師並みに多忙な診療をこなしながら, テュートリアルなど教育にも時間を割かなければならない。このような現状にあって, 本学の医師達には疲弊感が募っており, 大学にいるからこそ味わえる研究のやりがいや面白さを体験する余裕がなくなっている。これは大学人として, きわめて不幸な状況といわざるを得ない。基礎研究の成果を臨床の現場につなげるトランスレーショナルリサーチは本学のような大学病院がリーダーシップをとって行うべき研究であり, 豊富な症例数を有する本学の生きる道は臨床研究にあるといえる。このような研究を積極的に推進するには人材がどうしても必要になる。しかし, 本学だけの問題ではないかもしれないが, 欧米の大学や付属病院と比べて致命的なのはスタッフ数の圧倒的な少なさである。その結果, 大学に勤務する医師の一人当たりの仕事量は欧米の医師の数倍に及ぶのではないか? これでは研究に割く時間が足りなくなるのは当然である。かといって, 医師の労働を補助してくれるクラークやリサーチナースなどのコ・メディカルスタッフはさらに少ない。赤字解消には人件費の節減が必要かもしれないが, 人的資源がなければ高いレベルの診療も教育も研究も維持することはできない。人件費の削減は縮小均衡を招く自殺行為である。女子医大を発展させるには医師, 看護師, コ・メディカル, 職員の確保と増員が必要不可欠であると感じているのは私だけではないであろう。(2009.6, 内山真一郎)

編集担当幹事: 萩原誠久	檜垣祐子	伊藤景一	岩本安彦	小林楨雄	久保長生
三木伸泰	泉二登志子○	新田孝作	大貫恭正	斎藤加代子	澤田達男
杉原茂孝	玉置 淳	寺岡 慧◎	内山真一郎	山口直人	山本雅一
山内克巳	吉岡俊正				

(ABC 順, ◎委員長, ○副委員長)

東京女子医科大学雑誌 79 巻 8 号: 平成 21 年 8 月 25 日発行 (毎月 1 回発行)

Journal of Tokyo Women's Medical University Vol. 79 No. 8: August 25, 2009

発行者: 宮崎俊一

発行所: 東京女子医科大学学会

事務局: 学会室 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学

Tel & Fax: 03-5269-7403/E-mail: gakkai@hq.twmu.ac.jp

購読料: 年会費 6,000 円に含む。1 冊定価 1,000 円 (税・送料共)

振込先: 学校法人 東京女子医科大学学会

三菱東京 UFJ 銀行 東京女子医大出張所 普通 3643723/郵便振替口座 00150-4-4342

印刷: 株式会社杏林舎 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10 Tel: 03-3910-4311/Fax: 03-3949-0230

広告扱い: 日本医学広告社 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8

Tel: 03-5226-2791/Fax: 03-5226-0195

*本誌の内容を無断で複写・複製すると, 著作権・出版権の侵害になりますのでご注意ください。
